

(6) 2016年(平成28年) 4月28日(木曜日)

トム・ソーヤと、ハックルベリー・フィンは、アメリカの有名な小説に出てくる主人公です。トムは、亡くなったお母さんの姉であるポリー伯母さんに引き取られて暮らしています。トムは勉強が嫌いで、いたずらが大好き。家の手伝いをどうしたらしくなくていいかに知恵を働かせます。そして、ポリー伯母さんに叱られる毎日を送るのです。

「宿無しハック」と呼ばれるハックルベリーは、トムの親友で、ホームレス同然に暮らしています。トムはポリー伯母さんの干渉が嫌で、ハックを羨ましがります。誰の干渉も受けず、好き勝手に生きられる親友ハックは世界で一番幸せだとトムは思うのです。さて、どちらの方が本当に幸せでしょうか。自由で誰に

も干渉されないハックはラッキーでしょうか。「勉強しなさい」「手を洗いなさい」「早く家に帰って来なさい」「部屋を掃除しなさい」と、干渉を受けて、いつも保護されているトムの方でしょうか

され成長したら、子供は大変なことになるます。「私のお母さんは、少しうるさいのよ」と、思っていたら、小言を言ってくれるお母さんに、一度感謝してみてください。きっと、愛情がある

南加キリスト教教会連合

お母さんに感謝!

平田ベツキ

か。

干渉されることは、愛情があるからです。もし、愛情がなければ、学校に行くこと、手を洗って食べること、お風呂に入ることなど、大事な生活習慣を教えてくれないでしょう。何も言わないで放置

からだと気づくと思います。天地を創造された神様も同じです。私たちが悪い道に行くのを喜びません。友だちと喧嘩したり、勉強を怠けているのも、喜びません。私たちが皆と仲良くして、責任を持って生きることを望みま

す。愛情が深い神様は、ちょうどお母さんの愛に似ています。私たちが生きてちゃんと生活するため、大事な事を教えようとされます。悪い時は、何かの方法をもって、分かるように教えてくれます。「どうしたらいいでしょうか。知恵が必要です。神様、教えて下さい」と相談すると、神様は知恵を与えて下さいます。

「私のお母さんは、少しうるさいのよ」と、思っていたら、神様を代弁して小言を言ってくれるお母さんに、一度感謝してみてください。きっと、神様が私たちに愛情を注いでくれているからだと気づくと思います。

(WLA合同メソジスト教会&フェイス合同メソジスト教会日本語牧師)